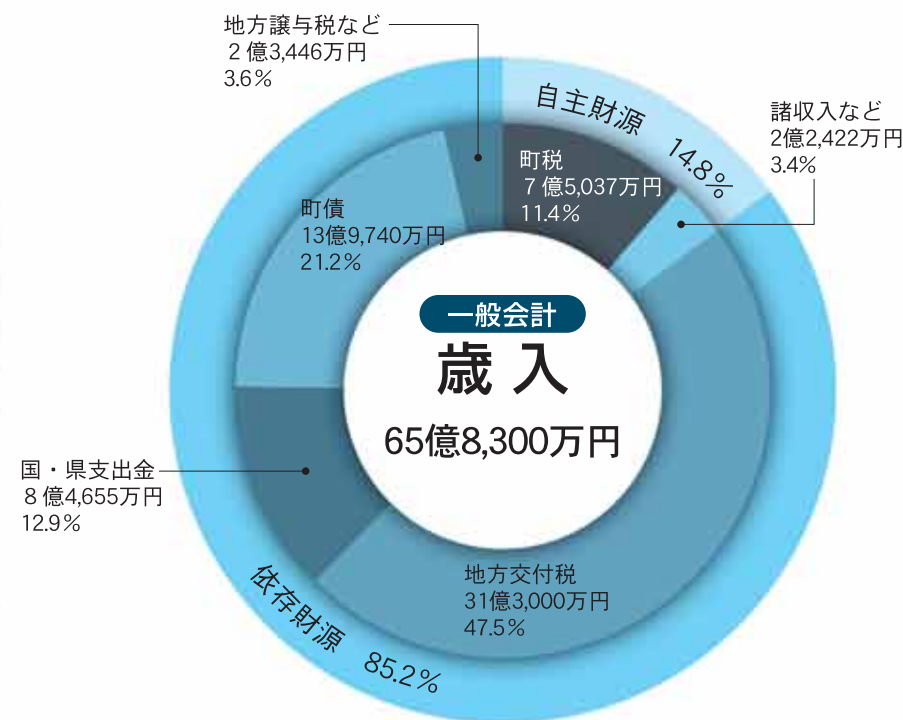


一般会計予算

平成24年度の一般会計は65億8,300万円となり、合併後最大の予算規模です。



歳入の特徴

- 町税などの自主財源は、景気低迷のため町民税・固定資産税が落ち込んだことにより減額です。
- 国・県支出金は、子ども手当や地上デジタル放送整備事業費により減額です。
- 町債は、学校統合事業・道路新設改良事業等事業費の増大により大幅増額です。

【国・県支出金】
国・県が使用目的を特定して交付

【地方交付税】
所得税、法人税、消費税などの国税収入の一部を国が交付

【町債】
公共施設の整備などのために借入

【諸収入】
財産貸付による財産収入や各種分担金、負担金、使用料

歳出の特徴

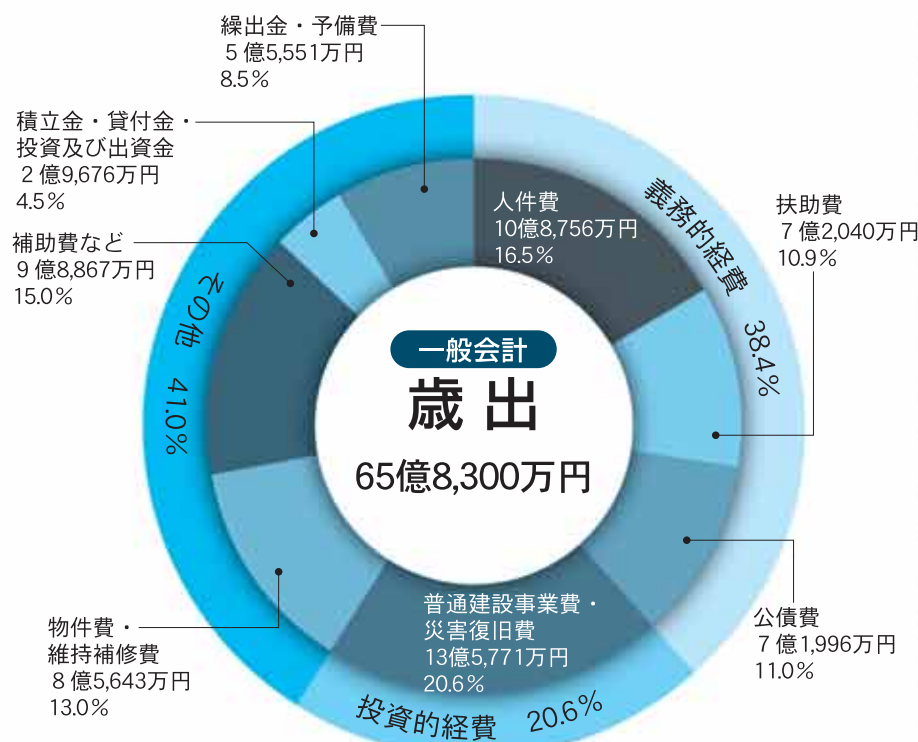
- 扶助費は、子ども手当や保育所運営負担金などにより大幅減額です。
- 普通建設事業費・災害復旧費は、学校統合事業など大型公共事業により大幅増額です。

【扶助費】
子ども手当や高齢者、障がい者、乳幼児の医療費助成費

【普通建設事業費】
道路、橋梁、河川や公共施設の建設費

【物件費】
委託料、消耗品、通信運搬費

【補助費等】
各種団体への補助金、負担金



わたしたちの

予算

和水町議会3月定例会で平成24年度の予算が議決されました。一般会計や特別会計などの予算総額は117億1,923万円。前年度と比較して8億1,098万円(7.4%)の増額です。本年度予算の主な内容をお知らせします。

問い合わせ先 本庁 総務課 財政係 ☎0968・86・5720

平成24年度 一般会計予算

平成24年度和水町一般会計予算は65億8,300万円で、前年度と比較して7億5,264万円の増額です。

増加の要因は、学校統合事業の造成・建築工事および設計監理等関連経費などです。

歳入について

歳入予算は自主財源(町が独自にもつ財源)が14.8%、依存財源(国・県からの補助金など)が85.2%です。

自主財源である町税は、引き続き厳しい雇用情勢や円高不況による地域経済の低迷などにより、7億5,037万円【1,537万円減】で総額の11.4%です。依存財源である地方交付税は31億3,000万円【9,000万円の増】の47.5%、国・県支出金は8億4,655万円【4,371万円減】の12.9%、町債13億9,740万円【6億7,832万円増】の21.2%です。

歳入に占める依存財源が85.2%と依然として地方交付税、国・県支出金および町債に多くの歳入を依存しており、町税の徴収率向上や公有財産の有効利用で自主財源の確保に取り組んでいます。

歳出について

歳出予算は、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)が歳出総額の38.4%、投資的経費(普通建設事業、災害復旧費)20.6%、その他(物件費、補助費など)41.0%です。

義務的経費の扶助費は、子ども手当、介護予防拠点整備事業補助金、保育所運営負担金の減額により、7億2,040万円【4,230万円減】の10.9%、公債費は、地方債の借入れ抑制の効果により、7億1,996万円【2,049万円減】11.0%、投資的経費である普通建設事業費は学校統合事業・道路新設改良事業などにより13億5,771万円【7億7,205万円増】20.6%、その他積立金は前年度に引き続き合併振興基金と災害対策基金などで2億9,676万円【4,235万円増】4.5%、物件費・維持補修費は、住民生活に光をそそぐ基金により町内各小中学校、公民館へ図書購入や道路橋梁の修繕などで8億5,643万円【9,370万円増】13.0%、補助費などは、有明広域事務組合負担金などの減額により、9億8,867万円【5,634万円減】15.0%、積立金・貸付金・投資および出資金は、合併振興基金・災害対策基金への積み増しにより、2億9,676万円【4,235万円増】4.5%、繰出金・予備費は、特別会計への繰出金で5億5,551万円【741万円減】8.5%です。

【 】は前年度予算との比較です。